

2013年3月期 決算IR説明会 質疑応答概要

株式会社メイテック

1. 日 時 2013年5月9日(木) 14:00~14:55
2. 場 所 当社東京本社 カンファレンスルーム

3. 質 疑 応 答

質問 現在の厳しい中途採用環境で工夫している点は？また、国の新卒採用に係る政策強化が予測される中、新卒採用で工夫している点は？

回答 リーマンショック後は、お客様の要望の変化を踏まえたうえで、採用活動自体にとどまらず、早期の配属に結びつく活動を行っています。さらに、業務やキャリアアップについての当社の魅力を応募者にていねいに説明することで、当社に対する安心感や期待感につなげる努力をしています。

また、新卒については、学校側の対応も就職指導がきめ細かに計画的になっていることを踏まえ、学校側の意向を受け止めつつ、当社での働き方を学校関係者や学生に正しく理解いただくための取組を行っています。

質問 10月にスタートするaejのポータルサイトは採用活動に関連しているのか？

回答 当社の採用活動に直結しているわけではありませんが、中長期的にメイテックの企業認知度とイメージを日本中のエンジニアの皆さんに広めることを目的としており、結果的にメイテックの採用活動に寄与することも期待しています。

質問 電機メーカーであっても、主要顧客の順位があまり変化していないことの背景は？また、当期における主要顧客の動向に対する見方は？

回答 電機メーカーであっても、主要顧客順位が大きく変化していない状況は、事業が厳しい状況下にあっても、中長期的な技術開発投資を継続されているお客さまが多いという事実の表れでもあると考えています。また、トップ10顧客売上比率がリーマンショック直前の2008年3月期に比べ前期では減少し、一方、トップ20顧客売上高比率が増加していることから、特定の顧客への依存率が低下しており、平準化しつつあります。これは、ポートフォリオマネジメントの面からも好ましい傾向と捉え、今後もこの状態を持続したいと考えます。

質問 メイテック単体でリーマンショック前の高い稼働率への改善は望めるのか？

回答 稼働率が改善する余地は若干はあると考えます。具体的には、新卒が入社すると稼働率が減少するため、その新卒を上半期中に配属できるような営業戦略パターンが定着すれば、下期においてリーマンショック前のような高い稼働率水準を目指すことは可能と考えます。

質問 メイテックNEXTの利益を横ばいと予想する理由は？

回答 前期は募集活動が効率的に進み費用が抑えられたが、当期においては、その費用を若干保守的に見ていることと、次の3ヵ年に向けた体制強化の費用を考慮して、営業利益はほぼ横ばいになると予測しています。

質問 アポロ技研グループの業績改善を予想する理由は？

回答 前期における営業体制の整備を進めた結果の効果が現れることを期待している。

以上